



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌

Vol.41
2025年冬号

News
Letter



トピックス

● 特集 1. DX シリーズNo.2

歯学部附属病院が実践する
オーラルDXの一例：デジタル
技術を用いて顎骨再建を行う！

● 特集 2.

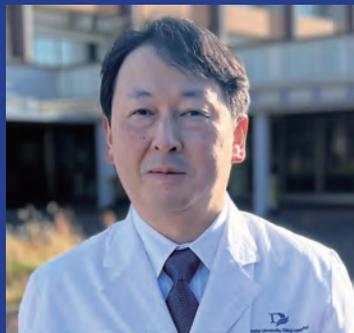
大学病院の歯科インプラント治療

お口の相談コーナー

お口のマメ知識

◆ 2024年10～12月の統計情報

◆ 病院概要



副病院長 田中 晋

大阪大学歯学部附属病院・副病院長を拝命しています田中 晋です。新年明けましておめでとうございます。健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

一昨年、新型コロナが5類感染症に移行しましたが、3年にわたるコロナ禍は私達の生活に様々な変化をもたらしました。そうした中、昨年は年明けから能登半島地震に見舞われ、その後も各地で頻発する災害、記録的な猛暑、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎の流行と自然災害から感染症対応まで、災害医療の重要性はより一層増しています。また、少子高齢化が加速する中で、一人一人の患者さんの生活、健康状態に合わせた医療の提供が今後ますます必要となっています。一方で、昨年4月より「医師の働き方改革」が始まり、限られた医療資源と人材の中でも地域に必要なとされる安心・安全で必要な医療が受けられる社会を実現していかなければなりません。

2025年は「乙巳年」です。ここ大阪では「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもとでEXPO2025大阪・関西万博が4月より開催される予定です。まさしく「乙巳」が表す困難があっても成長、変化して新たな社会を作り上げ、未来に繋げていく年にできますように、大阪大学歯学部附属病院も「口の医療に携わる最後の砦病院」として、さらに最良の医療を皆様に提供するべく引き続き努力して参りたいと思います。どうぞご期待ください。



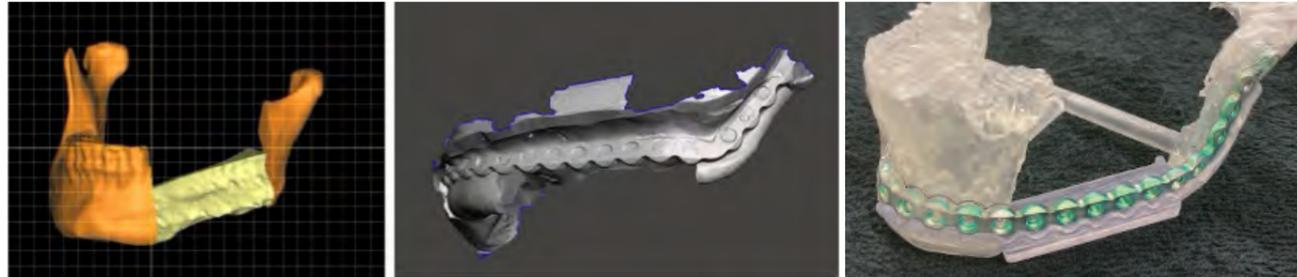
口腔外科2(修復系) 森田 祥弘

最近よく耳にするDXという言葉の意味をご存知でしょうか。これは「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、2004年にスウェーデンのエリック・ストルターマンという大学教授が考えた言葉だそうです。デジタル・トランスフォーメーションのトランスフォーメーションとは、英語で「変化・変形・変容」を表し、DXとはデジタル技術を用いた業務などの変革を意味します。

大阪大学歯学部附属病院ではオーラルDXと題してデジタル技術を用いた治療や業務、研究の変革を進めています。その一つの例として、デジタル技術を用いた顎骨再建への取り組みがあります。顎骨再建とは、口腔がんや骨髄炎などのために手術で顎の骨ごと取り除いて

しまった患者さんの顎骨を金属プレートやご自身の他の部位の骨などで補い、元の顎の骨に近い形態に戻す事です。近年、この顎骨再建の中で特に下顎の骨に対し、術前のコンピュータシミュレーションで予め骨の欠損する位置や量を計算し、コンピュータ上で下顎の再建を行い、そのシミュレーション通りに手術を行う工夫がなされ、実用化されています。

当院でも、コンピュータシミュレーションにより下顎骨の切除範囲を予め決定し、それに合わせた金属プレートや移植骨を設計し、顎骨再建をより短時間で、正確に行う取り組みがなされ、一定の成果を上げています。



図：コンピュータシミュレーションによる顎骨再建手術。コンピュータシミュレーションソフトで下顎を切断し、骨移植を行うシミュレーションを行い(左図)、さらに、骨を固定するチタンプレートもシミュレーションする(中央、右図)。

口腔補綴科 西村 正宏

現在のインプラント治療は1990年代から急速に普及し、多くの咀嚼困難患者さんを救ってきました。人工歯根を顎に入れるという軽い手術を行う必要があるため、すべての患者さんに実施できる治療法ではありませんが、多くの研究発表で、インプラント治療による噛む能力は、取り外し入れ歯よりも優れているという報告がなされ、失った歯の隣の歯を削って装着するブリッジよりも歯を削らないという意味での低侵襲治療であると言われています。

そして歯科インプラント治療そのものはもはや先端治療と呼ばれるものではありません。国の医療施設調査によれば、全国の歯科診療所のインプラント手術の実施状況は、2011年は約15%でしたが、2014年以降は約35%であり、この10年間は変わっていません。大阪府での実施率は全国平均であり、特に地域偏在があるわけでもありません。インプラント治療は基本的に自費治療ですが、先天性の歯の欠損、腫瘍や外傷などで広範囲に歯を失った場合は健康保険が使えます。ただし、そのインプラント治療は大学等の特定の施設でのみ実施できます。本院のインプラント治療は口腔インプラントセンターとして、多くの専門科が連携しているため、手術が怖い方には麻酔科の先生による静脈内鎮静下によって眠った状態で手術が受けられます。また、もっと怖がり、あるいは広範囲に顎の骨を造る必要のある方は入院して全身麻酔下で手術を受けることも可能です。手術は日帰りであっても右上写真のような完全個室の手術室で行われますし、最先端の手術機材やデジタル機器をフル活用して安心、安全に万全が期されます。

現在、国はどういった先生がインプラント治療を専門とし

ているのかを国民に分かりやすく広告できる制度(専門医制度)を策定中で、本院はこれまでも多くの学会専門医を輩出してきた実績から、その専門医の研修施設の候補になっています。本院はその名の通り歯学部附属病院ですから、学生、研修医、大学院生も含めて様々な世代の歯科医師が所属しており、新たな医療機器や治療法開発のための臨床研究も行っています。しかし、たとえどの世代の先生が担当医であっても、臨床研究に協力の有無に関わらず、全ての症例の治療計画は必ず専門医以上の指導医の目を通して許可されるため、一般の歯科医院よりも予約間隔が長くなりがちですが、その分、慎重に安心安全な治療を実施しています。

なお、インプラント治療の初診でのご相談は特に時間がかかるため、患者さんの待ち時間解消のためにも地域医療連携室を通して、かかりつけ歯科医院からの予約をお願いいたします(詳細は歯学部附属病院ウェブサイトの紹介・予約の申込方法をご覧ください)。



完全個室の手術室



歯学部附属病院ウェブサイト
「紹介・予約の申込方法」
https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/formedical/formedical_000051.html
※当院ウェブサイトのリニューアルを予定しているため、3月以降にURLの変更があります。ご了承ください。

お口の相談
コーナー



オーラルフレイルとは？～高齢期のお口の健康を守るために～

オーラルフレイルという言葉はご存知でしょうか。オーラルフレイルは、お口の機能が衰える初期の段階を指します。加齢に伴う変化や、お口の健康への関心の低下などが原因となり、噛む力や飲み込む力、話す能力が低下することで、食事や生活の質に影響を及ぼします。噛みにくさ、食べこぼし、むせ、滑舌の低下などの軽微な症状を放置したり、適切な対応を行わないままにしたりすることで、お口の機能低下が進行し、十分な栄養摂取が難しくなり、全身の健康にも悪影響を与えることがあります。オーラルフレイルの段階でお口の衰えに早めに気づき、機能低下を食い止めるよう対処することが重要です。

最近、オーラルフレイルをより

簡単に評価するための新たな指標「OF-5: Oral frailty 5-item Checklist」が導入されました。この指標では、右図のように、お口に関する5つの要素から、オーラルフレイルの可能性をチェックします。「OF-5」を活用して定期的にお口の状態をセルフチェックし、不安を感じたら歯科医師に相談してください。また、オーラルフレイルを予防するためには、日頃の生活で意識できるポイントがいくつかあります。例えば、食事の際によく噛むことでお口の筋肉を鍛えたり、こまめに水分を摂ることでお口の乾燥を防ぐことができます。友人や家族との会話を増やし、お口の筋肉を活性化させることも効果的です。

お口の健康を守ることが、心身

咀嚼補綴科 豆野 智昭

の健康を保つ第一歩です！健康なお口で、いつまでも笑顔のある生活を送りましょう。

チェック項目(OF-5)

- 自分の歯は何本ありますか
0～19本 20本以上
- 半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか
はい いいえ
- お茶や汁物などでむせることはありますか
はい いいえ
- 口の渇きが気になりますか
はい いいえ
- 普通の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか
はい いいえ

2つ以上該当で「オーラルフレイル」

お口の
マメ知識



「舌小帯短縮症」ってご存知ですか？

近頃、乳幼児の歯科健診で舌小帯が短いと指摘され、食べたり、話したりする機能の発達や、歯並びへの影響が出るのではないかと心配して来院される患者さんが増えています。舌小帯とは、舌の裏側についているヒダのことで、生まれつき短かったり、ヒダが舌の先端付近についている状態を「舌小帯短縮症」といいます。このような場合には、舌の運動が制限されてしまい、舌を前に突き出すと舌の先端がハート型になります(写真)。

根本的に治療を行うためには舌小帯を切除することになりますが、乳児期に手術が必要になることはまれです。しかし、舌小帯を切除することが授乳や発

音、お口の機能など様々な症状の改善に効果があるといった情報が出回り、切除を希望して歯科を受診されるケースも増えています。では、どのような場合に治療は必要なのでしょうか？

日本小児歯科学会では次のような見解を示しています。乳児期では、舌小帯が原因で授乳が難しい場合にのみ、切除が推奨されます。発音が気になる場合でも、発音機能の発達が完了する5歳頃まで待つてから判定を行い、必要であれば切除を行います。舌小帯が短い場合でも、その運動機能は年齢が上がるにつれて成長発育することが分かっており、5歳以降に判断を行って必要と判断されて切

小児歯科 鋸屋 侑布子

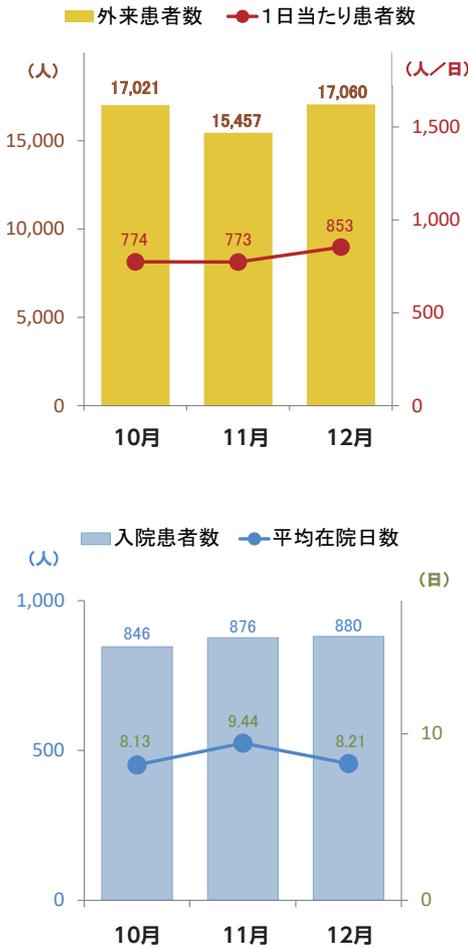
除を行っても、機能は十分に回復すると言われています。舌小帯の異常を指摘されたり、発音が気になる場合も治療を焦る必要はありません。まずは治療が必要かどうかを診断することが大切になりますので、お気軽に担当医までご相談ください。



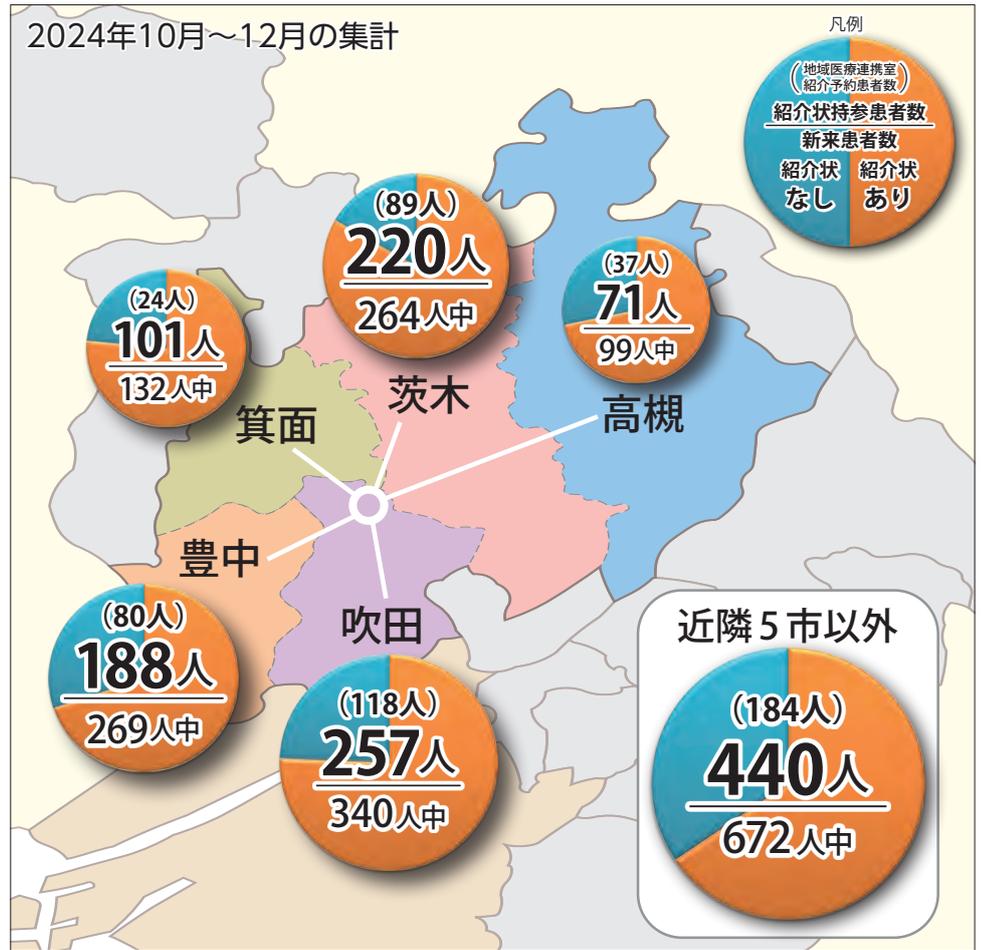
舌の先端がハート型になっている。

10月～12月患者数等統計

外来患者数・入院患者数



近隣5市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要



電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から制限を設けています。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分(初めて受診の方、紹介無し可)
 【再診受付】8時30分～15時00分(原則として全科予約制)

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：(代表) 06-6879-5111 (時間外) 06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

対象：予防歯科、う蝕(虫歯)、歯周病、補綴(冠、義歯、インプラント)、歯列不正、口腔がん、口唇口蓋裂、障害者歯科、摂食・嚥下・発音障害、スポーツ歯科、口臭、ドライマウス、睡眠時無呼吸、歯の外傷等

病院へのアクセス



歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門(歯学部門)よりお越しください。

看護師・歯科衛生士募集中!

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで